

広島国際大学への入学に向けて

広島国際大学教育・学生支援機構長
山中 浩泰(薬学部・教授)



2025年度に本学への入学を迎える予定の皆さん、入試合格おめでとうございます。いよいよ、来春から大学生としての第一歩を踏み出しますね。入学される皆さんがそれぞれ夢と希望を抱き、本学の門をくぐられることを教職員一同心待ちにしています。大学での生活は、自由な一面も多々



広島国際大学・呉キャンパス

ありますが、その分、各人が負う責任も自ずから大きくなります。一つ一つの行動に責任感を持って、一歩一歩成長することを期待しています。そのプロセスにおいて、教職員は皆さんの良き支援者となるべく、サポートしていきます。

さて、今回のメッセージでは、本学が目指す将来像とそれに関連する学びについて、簡単に触れたいと思います。

「ともに幸せになる学び舎； ウェルビーイングの実現へ」

本学は、これまで「健康・医療・福祉」分野において地域に根差す総合大学としての歩みをしてきました。そして、2024年度からは健康科学部に社会学科を開設し、学生自らが地域に赴き、活動する教育を展開します。「ひとをつなぎ、くらしをつなぎ、未来へつなげる」というコンセプトの下、学生・教職員そして地域住民を巻き込んで「ともに幸せになる学び舎」を目指していきます。入学する皆さんがその舞台を实践する主役となって大いに活躍することを希望します。

このように、本学は地域に開けた形で、「ともに発展し、ともに成長する、そして人々の幸せの実現に寄与する」、もって「ウェルビーイングの実現に寄与する」ことを掲げて日々邁進していきます。



呉キャンパス・ローズガーデン

東広島キャンパス・アクティブウェルネスセンター



しかしながら、上記の将来像は容易に達成できるものでもありません。本学で学ぶ皆さん一人一人がピースとなって、互いに協力し合い、協働して将来像という大きなジグソーパズルを完成させていくことが不可欠です。そのために、我々教職員も適切にサポートしていきます。皆さんは、4年間、あるいは6年間の貴重な時間を大学で過ごすことになります。日々の行動を大切に

して、実りある大学生活を送ってもらえることを切に願っています。その中で、困ったことが生じた時は、いつでも教職員に相談して下さい。

「自己認識と他者理解」

大学へは多くの学生が入学しますが、学生の個性は多種多様です。入学される皆さんは、まずは将来に向けた自身の目標を改めてしっかりと描いて下さい。一方で、正課活動や課外活動の場面では、多くの同級生・先輩と出会うことになります。他者の立場や考え方などは、必ずしも自身のそれと一致するとは限りません。ここで、大切なのは他者を受容し理解することになります。その行動が良き仲間を形成することになりますし、これまでの自身とは異なる新たな発見や学びにもつながって、自身の成長を促す結果になることも少なくありません。そのような意味で、本学で遭遇した仲間を是非大切に、大学生活を謳歌してもらえればと思っています。



広島国際大学・東広島キャンパス



大学の授業においても、数人がチームを組んで協働して学ぶ授業が多々あります。例えば、皆さんが入学後、一年生必修科目として「チュートリアル」や「専門職連携基礎演習」という科目が設定されています。これらの科目では、数名がチームを組んで課題に取り組むグループワークを実践します。チームが一つの共同体としてうまく機能するためには、自身のことも他者に解ってもらう必要がありますし、他者のこともしっかりと

理解する必要があります。そのようなプロセスを是非とも楽しみながら、互いに学びあってもらえればと思っています。

「直面する問題に対して、他者と協働して解決へと導く」場面は、今後の皆さんの人生においても何度も遭遇すると思います。そのような時に、大学の授業で得た相互学修の経験が大いに役立つ

と思います。「ともに学び、ともに成長する」大切さがこれらの授業を通じても体现されることになるわけです。皆さん自身が積極的に行動することが「協働」につながります。仮に自身に殻があるのであれば、入学後はその殻を破って大いに他者と交わって下さい。皆さんの活躍を期待しています。



東広島キャンパス・総合グラウンド

さあ、いよいよ本学への扉を開くこととなります。個々の皆さんの夢の実現に向けて、これから有意義な学生生活をともに送っていきましょう！